

成人の救急医療

地域の救急医療体制を維持するために
救急医療の現状と医療機関の適正な受診について

尾道市立市民病院

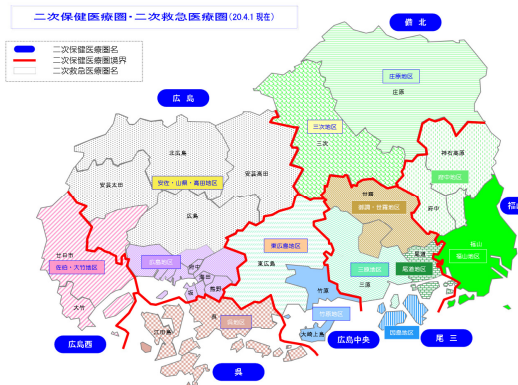
突沖満則

2014.9.11

我が国の救急医療体制

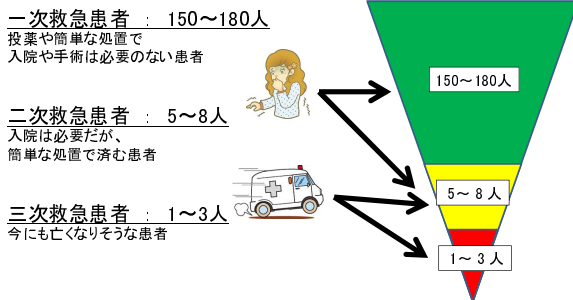
一時救急	入院治療を必要としない軽症患者に対応 発熱・頭痛・腹痛・腰痛など比較的緊急性の低い症状 当該地域の主な対応医療機関 かかりつけ医・夜間救急診療所 夜間救急での処置は応急的なもので、必ず翌日かかりつけ医を受診してください。
二次救急	入院・手術を必要とする中等症患者に対応 生命の危機には切迫していないが、入院が必要な症状 当該地域の主な対応医療機関 尾道市立市民病院・JA尾道総合病院・みづき総合病院
三次救急	生命の危機が切迫している重篤患者に対応 心停止・呼吸停止・多発外傷・ショック症状など生命の危機にかかわる症状 当該地域の主な対応医療機関 福山市長病院・広島大学・岡山大学・川崎医大・広島県立病院

当地域の救急医療の現状



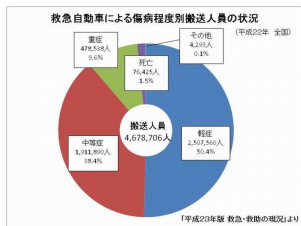
救急患者の発生数

人口10万人あたり1日に 150~200人



救急搬送患者数 尾道市消防局 2011年

軽症	中等症	重症	重篤	死亡	その他	合計
3,046	2,900	628	98	114	4	6,790
44.9%	42.7%	9.2%	1.4%	1.7%	0.1%	100%



尾道市内に救急搬送した消防機関	2012年搬送数	
尾道市消防局	6,438	94.8%
福山地区消防組合	850	4.4%
三原市消防本部	480	10.7%
上島町消防本部	473	97.5%
東広島市消防局	18	0.2%
備北地区消防組合	4	0.1%
合計	8,263	

医療施設等配置図

尾道市消防局救急搬送患者数(2012年)

受け入れ医療機関	受入数	
尾道市立市民病院	1,855	40%
尾道市立夜間救急診療所	720	
JA尾道総合病院	2,252	35%
因島総合病院	368	6%
公立みつぎ総合病院	284	4%
因島医師会病院	160	3%
3次救急病院	59	1%
その他	757	11%
合計	6,455	100%

心肺停止症例(2011年)

受け入れ医療機関	症例数	
尾道市立市民病院	54	40.0%
尾道市立夜間救急診療所	18	
JA尾道総合病院	49	27.2%
因島総合病院	40	22.2%
公立みつぎ総合病院	13	7.2%
瀬戸田診療所	6	3.3%
合計	180	100%

尾道市立市民病院の救急医療体制

2014年3月まで

勤務時間内

8:30~17:15(救急ホットライン)
麻酔科医がトリアージ

時間外診療(内科系・外科系)

平日 17:15~20:00 + 翌日 7:00~ 8:30
休日 7:00~20:00

尾道市立夜間救急診療所(内科系・外科系)

毎日 20:00~ 翌日 7:00

2014年4月から

勤務時間内

8:30~17:15(救急ホットライン)
麻酔科医がトリアージ

時間外診療(内科系・外科系)

平日 17:15 ~ 翌日 8:30
休日 8:30 ~ 翌日 8:30

尾道市立夜間救急診療所(内科系・外科系)

尾道市門田町に移転
平日 20:00~ 23:00

尾道市立市民病院救急医療体制の課題

1. 内科系当直医の不足

8名で365日(週9コマ)の対応

平日当直1回
休日当直1回
休日日直1回
平日待機2回

これ以外に
土曜・日曜の血液透析当番
受け持ち患者の回診

さらに
当直・待機の翌日も通常勤務
+ 時間外勤務

2. 小児科医の不足

受け入れ困難

平成26年6月医師連絡表

科	種別	氏名	所属	勤務時間	連絡先	備考
1	水	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
2	金	菅原	伏見	大岡	吉岡	大村 隆光
3	土	島村/海尾(急)	山崎	吉岡	吉岡	大村 隆光
4	日	松本/野村(急)	宇田	吉岡	吉岡	大村 隆光
5	月	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
6	火	福井(急)	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
7	水	村上	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
8	木	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
9	金	菅原	伏見	大岡	吉岡	大村 隆光
10	土	山崎(急)/海尾(急)	山崎	吉岡	吉岡	大村 隆光
11	日	松本/野村(急)	宇田	吉岡	吉岡	大村 隆光
12	月	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
13	火	福井(急)	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
14	水	村上	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
15	木	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
16	金	菅原	伏見	大岡	吉岡	大村 隆光
17	土	山崎/海尾(急)	山崎	吉岡	吉岡	大村 隆光
18	日	松本/野村(急)	宇田	吉岡	吉岡	大村 隆光
19	月	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
20	火	福井(急)	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
21	水	村上	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
22	木	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
23	金	菅原	伏見	大岡	吉岡	大村 隆光
24	土	山崎(急)/海尾(急)	山崎	吉岡	吉岡	大村 隆光
25	日	松本/野村(急)	宇田	吉岡	吉岡	大村 隆光
26	月	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
27	火	福井(急)	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
28	水	村上	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
29	木	福井	吉岡	吉岡	吉岡	大村 隆光
30	金	菅原	伏見	大岡	吉岡	大村 隆光
31	土	山崎/海尾(急)	山崎	吉岡	吉岡	大村 隆光

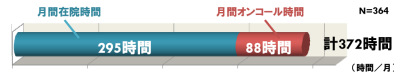
当直の場合の連続 37時間勤務



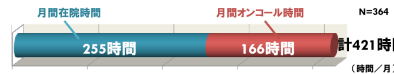
医療従事者に特有のオンコールの拘束感

医療従事者に特有の労働環境として、さらに、長時間勤務に加えてオンコール体制による拘束感の強さも挙げられる。女性医師が増え続けるなかで、安定的な医療従事者の確保のためには、負担軽減の推進やワークライフバランスの改善が不可欠である。

当直体制のある一般病院における産婦人科医の平均月労働拘束時間(平均41歳) N=364



当直体制のない一般病院における産婦人科医の平均月労働拘束時間(平均44歳) N=364



(出所)日本産科婦人科学会産婦人科医労務委員会「わが国の産科婦人科医労働環境の現状と改善に向けた取り組み」



これからも大切な救急医療が続けられるために

救急医療の現状をご理解ください
全国的に医師不足が社会問題となっていますが、当地域でも例外ではなく、地域の中核的医療における勤務医不足が深刻な問題となっています。守る医師が一人でもいなくなると医療崩壊につながります。

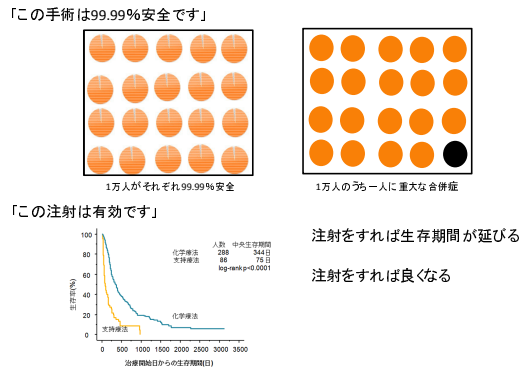
救急医療とは、急なケガや病気をしたときに対応してくれる医療機関です。しかし、休日や夜間に救急医療を担う病院へ、症状の比較的軽い患者さんが集中し、病状に勤務する医師からは限界との声が上がってきています。このままでは、救急医療の崩壊を招き、本当に必要なときに救急医療を受けることがなくなる恐れがあります。

『市民の皆様を守る救急医療体制を維持するためには、救急医療を適正に利用していただくための一人ひとりの心がけとご協力が必要です。』

救急医の数が足りず、実際の現場で救急患者を診ているのは、他の専門を持つ内科や外科の医師が時間外に救急医療もっており、夜間当直後も翌日休み無く働かなくてはならないのが現状です。

医療にとって大切な事のひとつは医師と患者・患者家族の信頼関係ですが、救急の現場では、突然患者さんはやってきて、みるみる容態が変わることもあり、家族と十分な信頼関係を得る時間もなく、治療に奔走しなければなりません。その結果が悪い場合、医療訴訟に発展する例もあります。

医師の常識は世間の非常識 医療の不確実性



現在在籍中の医師が立ち去らないために

こどもを守る 救急を命を守る

尾道市立市民病院の小児科を守る会

1. コンビニ受診を控えよう
2. かかりつけ医を持とう
3. お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう

平成18年に3人から2人に減り
平成19年4月からは1名が病院長になり清涼の危機
平成26年4月 常勤4人・非常勤1人

尾道市立市民病院救急医療体制の模索

1. 内科系当直医の不足
近隣医師会からの日・当直の応援
2008年5月から 尾道市医師会 10名
因島医師会 5名
松永沼隈地区医師会 5名
発熱外来 2009年10月29日から12月27日まで 延べ74名出務
 2. 小児科医の不足
みつき総合病院からの応援
JA尾道総合病院への集約
 3. 尾道市立夜間救急診療所(内科系・外科系)
2014年4月1日 尾道市門田町に移転
平日 20:00~ 23:00(土日祝日はJA尾道総合病院)
- (上記時間帯以外および二次救急は
尾道市立市民病院・JA尾道総合病院・みつき総合病院等で
地域全体の医療資源を結集して24時間・365日の救急医療を担います)

救急医療の適正受診にご協力ください

これまでは色々な医療連携の主体は病院などの供給側でしたが、現在の医療は医師と患者の共同作業です。

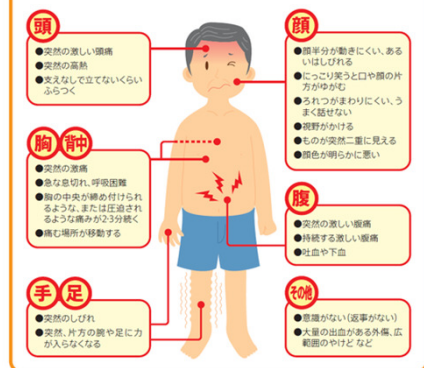
かかりつけ医を持ってください
かかりつけ医とは、病気になったときの初期の医療や、日ごろの健康に不安を感じたときに相談できる身近な診療所の医師のことです。
自宅近くの「かかりつけ医」を探しておきましょう。
体の不調を感じたときは、最初に「かかりつけ医」に相談し、適切なアドバイスを受けてください。

できるだけ星間の診療時間内に受診してください
夜間や休日の救急医療は、緊急事態に備えるためのもので、限られた医療スタッフで運営されています。本来の診療時間とは異なり、専門医が診察できることは限りません。
本当に治療を必要とする人への対応ができるようコンビニ受診は避けてください。

夜間の急な病気はまず夜間救急診療所へ
比較的軽微な場合は、「尾道市立夜間救急診療所」や「休日当番医」を受診してください。
診察の結果、入院や手術などの治療が必要な場合は、速やかに二次救急医療機関に紹介されます。

救急車の適正利用にご協力ください
緊急性がない救急車の利用が多くなると、本当に必要な人へ速やかに救急車を出動させることができなくなります。
大切な命を救うため、緊急性があり、本当に必要なときに救急車を利用しましょう。
ただし、痛病者の様子や病状の状況から、急に病院へ運んで行ったほうがいいと思ったときは、速やかに119番通報してください。

こんなときはためらわず 119番を!



地域の救急医療を守るために

地域の医療資源を結集して24時間・365日の救急医療を担い、地域の安心・安全を守ります。

市民の皆様も救急医療の現状を理解いただき、今いる医師が立ち去り医療崩壊とならないように

コンビニ受診・救急車の不適切利用の削減にご協力ください。



ご清聴ありがとうございました